



天守台跡に建てられた展望台

# 1 伊勢上野城跡 (本城山青少年公園)

織田信長の弟信包が永禄12年(1569)に五万石で入城し、お市と3人の姫も7年住んだと言われています。天守台跡・二の丸跡、近くに武家屋敷跡があります。



展望台や東屋から伊勢湾を一望でき、晴れた日には知多半島や鈴鹿山脈を見渡せます。4月にはお花見、バーベキュー場やアスレチックも設置されていて家族連れで楽しめます。「江」にちなんだ歴史資料室が、展望台2階資料室にオープン。

【お問い合わせ先】本城山青少年公園展望台2階 資料室  
TEL 059-244-1700 (津市河芸総合支所(平日のみ))  
(休館日)月曜日・12月29日~1月3日 (開館時間)9:00~16:30 (入館料)無料  
近鉄豊津上野駅下車徒歩10分



伊勢上野城の湧池



伊勢上野城跡 (本城山青少年公園) 案内図

おすすめビュー  
東屋から伊勢湾が一望できます。



# お江戸のまちを知る 伊勢上野 城跡 観光

伊勢上野城跡や伊勢街道の歴史を感じて歩いてみよう!



大河ドラマ「江」地域活性化推進協議会 公認キャラクター ゴーちゃん



至中勢バイパス  
津市河芸総合支所



妙見堂からのほり道



上野神社



旧伊勢街道



光勝寺



弘法井戸



円光寺

- お食事処
- コンビニ
- 銀行/ATM
- トイレ
- GS ガソリンスタンド
- P 駐車場
- 休憩所
- バス停
- お土産

- 2 円光寺**  
足利家義持・義教・義政の御教書を受けて荘園を賜った、分部家の菩提寺です。
- 3 光勝寺**  
境内には古くから観音堂があり、ここを伊勢上野城主分部光嘉公が祈願所としました。光嘉公の嫡子光勝公の菩提寺です。
- 4 上野神社**  
古くは八幡神社と呼ばれていました。建徳2年(1371)伊勢国北島頭能が創建。織田信包公が太刀一振り奉納して城の守護神としています。
- 5 最勝寺**  
明応2年(1493)の創建と考えられます。境内には伊勢上野城内にあった地蔵を延命地蔵として安置しています。

- 6 華林庵**  
伊勢上野城主分部光嘉公の墓地です。森の中にあったが、今は畑地となり近鉄線路が墓前を横切っています。
- 7 中條小伝塚**  
分部光嘉公の或五郎の家臣で通称「鬼の小伝」と言われています。百五十石屋敷は南町にあります。
- 8 弘法井戸**  
民家13軒程で井戸を管理しています。堂には弘法大師を祀っています。
- 9 大庄屋**  
庄屋は一村の首長であり、それを統括する郡長でした。各地における小争いは大庄屋で処理しました。

- 10 中須神社跡**  
通称に若王子宮とも言われ、中町・須崎町・南町の氏子で守護されました。秋祭りの時には角力の催しを楽しんだそうです。
- 11 里程標**  
中町と住吉町の境にあるこの里程標は、旅をする人が距離の目安となる里を示したものです。
- 12 直角に近い曲がり角**  
小茶屋・意家・角屋付近は戦国時代に市街戦術上の攻守に有利なように工夫された所です。
- 13 本陣跡**  
大名の宿舎で、家臣や従者が臨本陣に泊まりました。中町は宿屋や妓楼も多く最も繁昌をさわめました。本陣は丸屋です。

- 14 問屋跡**  
本陣の東向かいが荒井屋で問屋と言います。荷物や旅客文書などを運ぶ中継問屋でした。
- 15 別所三郎家**  
上野城主分部家の招待家老で光信が大溝へ転封の時、その帳簿整理、紀州領への引継をなし、また大庄屋として重きを成しました。
- 16 宿場の面影**  
瓦を敷き詰めた土塀に宿場の面影が残ります。
- 17 武家屋敷跡**  
家によって地土・鳥見役・番刀人などに分かれていました。

- 18 接待跡**  
田中川を渡った北入り口に接待と言われた茶屋や常夜燈がありました。

**伊勢街道 上野宿**

江戸時代の上野の家数三百余軒、本陣・脇本陣・問屋・御七里があり、宿も二十七軒をこえ、妓楼も八軒を数えた。当時の上野宿を歌ったものに「遠くに見ゆるは、上野のしるへの城の松、疲れし足も先何里、遠きも近きも旅心、大きな看板、板看板、とらやまんじゅう、茶屋の香りがぶんとたち、のれんくぐれば味がする。宿場ののれんがまねく万屋か角屋、あやめ太鼓、ざりざり音にほだされて、後に追うは里子たち、三味線片手のほうかい梅、あほだら縁の旅ながし、いつもにぎあふくるわの華ざかり」とあり、町の繁栄の様子が伺えます。(角川地名大辞典)

